※令和４年度以降入学生用

学校番号	１０１０

令和５年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	第一言語	2	1	自主教材

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・来日により母語の学習が一定期間途切れているため、朗読を多くおこないます。語彙を増やし、さまざまな文章表現に触れるため、小説だけではなく新聞記事についても取り上げることがある。母国の文化について理解をより深めるための活動（母国での経験や学校生活、地域の紹介など）を通じて、自分の伝えたいことを相手に伝えるためにどんな工夫ができるか一緒に考える。
・日本で生活する中で、母国ではなかったものや経験したことのないものを母語でどのように表現するか、学習する。

２ 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第１学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
学習到達目標	短い質問に答えたり、会話文を聞いた後にその内容に関する質問に答えるところから始め、徐々に分量を増やし、目標としては人の話や発表を聞き、その中から要点や相手の伝えたいことを的確に理解する。	多くの文章を読むことで、日常会話では使わない表現や語彙に触れ、その意味を理解することでできるだけ多くの語彙を習得する。文法事項については母語で学習し、学齢に応じた文章を読むことができるようにする。	様々な地域の出身者と話をすることで、標準語と方言とのちがいに気づく場面が多くあると思われる。場面に応じた話し方、言葉の使い方についても自信をもってできるようにする。	時事問題や母国の文化、自らの経験を、自らの意見や考え、気づきもまじえて発表するために、事実と意見の書き分けや相手にわかりやすく伝えるために発表の姿勢についても考える。	長い文章を書くことに慣れていない場合には、はじめは短いコメントや意見を書くところから行い、徐々に分量を増やし、自らの経験を書いたり、テーマに沿った内容で作文を書く練習を重ねることで、学習した語彙や表現も使えるようにする。

３ 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	語彙・文法・表現などの基礎知識が身についていて、読む・書く・聞く・話すときに自由に表現ができている	自らの経験を振り返り、現在の自分の生活環境や言語能力もふまえた上で、さまざまな事象について自分の思いや考えを母語で表現することができている。	調べ学習や発表の準備のために、インターネットや資料を有効に活用し、準備をおこなう。他者に学ぶ姿勢を大事にし、表現の豊かさなどをみんなで共有し、楽しむことができている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
1 学期	文を構成する語順 文の種類	聞くこと	a: ターゲットの文法項目を聞き取り、内容を理解することができる。 b: ターゲットの文法項目を聞き取ろうとしている。	行動観察 授業態度
		読むこと	a: ターゲットの文法項目を読み取り、内容を理解し、機能を理解することができる。 b: ターゲットの文法項目を読み取り、理解することができる。 c: ターゲットの文法項目を読みとろうとしている。	行動観察 授業態度 授業内テスト
		話すこと （やり取り）	a: 相手が話す内容を聞き取り、それに対してターゲットの文法項目を用いて返答することができる。 b: 相手が話す内容を聞き取り、それに対してターゲットの文法項目を用いて返答しようとしている。 c:相手が話す内容を聞き取ろうとしている。	行動観察 授業態度 スピーキング テスト
		書くこと	a: ターゲットの文法項目を用いて、自分の意見を交えた文章を書くことができる。 b: ターゲットの文法項目を用いて、キーワードを頼りに文章を書くことができる。 c: ターゲットの文法項目を用いて、文章を書こうとしている。	行動観察 授業態度 授業内テスト
	中間考査			
	文の種類 人称代名詞の種類 形容詞の活用	聞くこと	a: ターゲットの文法項目を聞き取り、内容を理解して、機能を理解することができる。 b: ターゲットの文法項目を聞き取り、理解することができる。 c:ターゲットの文法項目を聞き取ろうとしている。	授業内テスト （リスニング） 授業態度
		読むこと	a: ターゲットの文法項目を読み取り、内容を理解し、機能を理解することができる。 b: ターゲットの文法項目を読み取り、理解することができる。 c:ターゲットの文法項目を読み取ろうとしている。	行動観察 授業態度
		話すこと （発表）	a: 相手が話す内容を聞き取り、それに対してターゲットの文法項目を正しく使用して発表することができる。 b: 相手が話す内容を聞き取り、それに対してターゲットの文法項目を使用して発表しようとしている。 c:ターゲットの文法項目を使用して発表しようとしている。	授業内テスト （発表） 行動観察
		書くこと （作文）	a: ターゲットの文法項目を用いて自分の意見を交えた文章を書くことができる。 b: ターゲットの文法項目を用いて、キーワードを頼りに文章を書くことができる。 c:ターゲットの文法項目を用いて、文章を書こうとしている。	授業態度 行動観察 完成度
	期末考査			
2 学期	副詞 可能・許可の接辞 動名詞	聞くこと	a: ターゲットの文法項目を聞き取り、内容を理解して、機能を理解することができる。 b: ターゲットの文法項目を聞き取り、理解することができる。 c:ターゲットの文法項目を聞き取ろうとしている。	行動観察 授業態度
		読むこと	a: ターゲットの文法項目を読み取り、内容を理解して、機能を理解することができる。 b: ターゲットの文法項目を読み取り、理解することができる。 c:ターゲットの文法項目を読み取ろうとしている。	行動観察 授業態度
		話すこと （やり取り）	a: 相手が話す内容を聞き取り、それに対してターゲットの文法項目を用いて返答することができる。 b: 相手が話す内容を聞き取り、それに対してターゲットの文法項目を用いて返答しようとしている。 c:相手が話す内容を聞き取ろうとしている。	行動観察 授業態度 発表
		書くこと	a: ターゲットの文法項目を用いて自分の意見を交えた文章を書くことができる。 b: ターゲットの文法項目を用いて、キーワードを頼りに文章を書くことができる。 c:ターゲットの文法項目を用いて、文章を書こうとしている。	行動観察 授業態度
	中間考査			
	接続詞 複文	聞くこと	a: ターゲットの文法項目を聞き取り、内容を理解して、機能を理解することができる。 b: ターゲットの文法項目を聞き取り、理解することができる。	行動観察 授業内テスト 授業態度

※令和４年度以降入学生用

			c:ターゲットの文法項目を聞き取ろうとしている。	
		読むこと	a: ターゲットの文法項目を読み取り、内容を理解して、機能を理解することができる。 b: ターゲットの文法項目を読み取り、理解することができる。 c:ターゲットの文法項目を読み取ろうとしている。	行動観察 授業態度
		話すこと （発表）	a: 相手が話す内容を聞き取り、それに対してターゲットの文法項目を正しく使用して発表することができる。 b: 相手が話す内容を聞き取り、それに対してターゲットの文法項目を使用して発表しようとしている。 c:ターゲットの文法項目を使用して発表しようとしている。	行動観察 授業態度 完成度
		書くこと	a: ターゲットの文法項目を用いて自分の意見を交えた文章を書くことができる。 b: ターゲットの文法項目を用いて、キーワードを頼りに文章を書くことができる。 c:ターゲットの文法項目を用いて、文章を書こうとしている。	行動観察 授業態度
	期末考査			
３学期	文の構成 比較 感嘆詞	聞くこと	a: ターゲットの文法項目を聞き取り、内容を理解して、機能を理解することができる。 b: ターゲットの文法項目を聞き取り、理解することができる。 c:ターゲットの文法項目を聞き取ろうとしている。	行動観察 授業態度
		読むこと	a: ターゲットの文法項目を読み取り、内容を理解して、機能を理解することができる。 b: ターゲットの文法項目を読み取り、理解することができる。 c:ターゲットの文法項目を読み取ろうとしている。	行動観察 授業態度
		話すこと （発表）	a: 相手が話す内容を聞き取り、それに対してターゲットの文法項目を正しく使用して発表することができる。 b: 相手が話す内容を聞き取り、それに対してターゲットの文法項目を使用して発表しようとしている。 c:ターゲットの文法項目を使用して発表しようとしている。	行動観察 授業態度 完成度
		書くこと	a: ターゲットの文法項目とテーマを用いて自分の意見を交えた文章を書くことができる。 b: ターゲットの文法項目とテーマを用いて、キーワードを頼りに文章を書くことができる。 c:ターゲットの文法項目とテーマをを用いて、文章を書こうとしている。	行動観察 授業態度 授業内テスト
	学年末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度